

地方分権改革 推進特別委員会報告

エコスラッグ センターを視察

八月三十一日に西部広域行政管理組合の広域灰溶融施設「エコスラッグセンター」を地方分権改革推進特別委員会が視察しました。

当施設は西部地区の一般ごみ、不燃ごみ、家庭汚水、し尿を処理施設で処理した後の焼却残さを最終処理し、スラッグ化して土木建築資材等に有効利用するものです。

村瀬所長から、施設の概要、建設の経過等について説明を受け、施設内を見学しました。

焼却炉は有害ガスの安定化及び削減のために高温の保持が必要で、耐火材の侵食が急速に進み莫大な修繕経費がかかる見通しで大変苦慮している模様であります。

町の課題として、ごみの減量化について、さらに努力の必要があります。



稲こぎ（二部地内）

議会・農業委員会 意見交換会

町議会と農業委員会の 合同意見交換会を実施

八月三十一日溝口公民館において、町議会と農業委員会で、厳しい環境下にある農業問題について初めての意見交換会を実施しました。

溝口、二部、日光、八郷、大幡、幡郷の六地区の分科会に分かれ問題点を話し合った結果、主なもの荒廃地対策、集

落営農、特産品開発、米価対策、町独自支援などが提起され、今後の農業行政の課題として提起されました。

町議会としてはこれらの意見を踏まえ、基幹産業である農業の諸問題解決に向けて、一層取り組み強化が必要と考えます。